

イシガレイの接岸

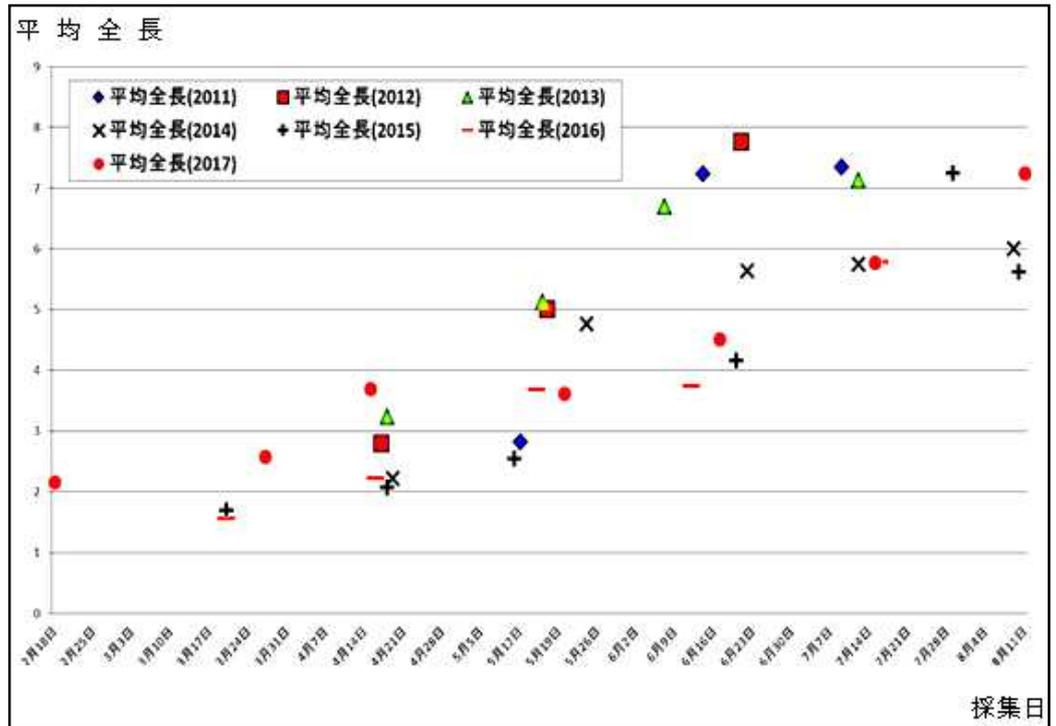
■イシガレイ稚魚の接岸

今回の調査では、七北田川河口において、1匹だけがイシガレイの稚魚を採集した(Fig.2)。全長2cmの個体である。

これまでの調査では、2018年に採集した2月18日の個体が最も早い採集日であった。今回採集した個体は、数日ではあるが、これまでで最も早い時期に採集した個体となる。

Fig.1はイシガレイ稚魚の採集日と平均全長を示している。1.5cmから2cmに成長するまで、およそ1ヶ月かかっている。また、これまで採集した個体で最も小さい個体は1cm程度である。

全長1cm程度で接岸し、0.5cm成長するのに1ヶ月かかると仮定すると、今回採集した個体は2ヶ月前に接岸したと想定され、前年12月末には早い個体は接岸している可能性が考えられる。



(Fig.1 各年における採集日とイシガレイの全長)



(Fig.2 採集したイシガレイ)



(Fig.3 アサリの稚貝)

■アサリの稚貝

蒲生干潟にはアサリが生息している。Fig.3は今回採集した稚貝で5mm程度である。アサリは春・秋に産卵するが、この個体は秋に産卵された個体と思われる。このような個体が多数存在し、これから成長していくのであろう。

(佐藤 賢治)